

令和5年1月17日
独立行政法人大学入試センター

令和5年度大学入学共通テスト（本試験）理科②「生物」の 正解の訂正について

1月15日に実施した令和5年度大学入学共通テスト（本試験）理科②「生物」の第5問 問2について、正解を選択肢⑤と発表しましたが、問題文中に誤字があり解答に影響する可能性があるため、選択肢①も正解とすることに訂正します。

（訂正理由）

本問は、7つの選択肢の中から適当なものを過不足なく含む選択肢を一つ選択する問題である。

濃度勾配を形成する母性因子の特徴として示した①～③の3つの記述のうち、適切な記述は①及び③であるため、選択肢⑤が正解であった。しかし、「濃度勾配」の文言が、③では誤って「濃度勻配」と示されていることが判明した。受験者が、当該箇所の漢字が誤っていることを理由に③が適切ではない記述と判断し、①のみで構成される選択肢①を解答する可能性があることから、選択肢①も正解として追加する。

この件に関する問い合わせ先
独立行政法人大学入試センター
総務部総務課広報係
TEL 03-5478-1316(直通)

生 物 (100点満点)

問 題 番 号 (配点)	設 問	解答番号	正 解	配 点	問 題 番 号 (配点)	設 問	解答番号	正 解	配 点	
第1問 (17)	1	1	5	4	第4問 (20)	1	13	3	4	
	2	2	4	4		2	14	3	4	
	3	3	4	4		3	15	2	4	
	4	4	7	5* ¹		4	16	3	2	
第2問 (18)	A	1	5	7		4	5	17	7	2
		2	6-7	2-5	6 (各3)	4* ²	18	6	4	
	B	3	8	4	4	第5問 (19)	1	19	5	2
		4	9	7	4		2	20	4	3
第3問 (12)	1	10	8	4	2		21	1又は5	4	
	2	11	5	4	3		22	5	3	
	3	12	2	4	3	23	8	3		
/					第6問 (14)	4	24	2	4	
						1	25	6	4	
						2	26	2	4	
						3	27	1	3	
						28	9	3		

(注)

- 1 *1は、4を解答した場合は2点を与える。
- 2 *2は、2を解答した場合は1点を与える。
- 3 - (ハイフン)でつながれた正解は、順序を問わない。
- 4 第5問問2については、1又は5を正解とする。

【理由】

本問は設問文に示された①～③の3つの文章のうち、適当なものを過不足なく含む選択肢を解答させる問題であり、①及び③で構成される選択肢⑤が正解である。しかし、「濃度勾配」の文言が、③では「濃度勾配」と誤って示されていることを理由に、受験生が③は適当でないと判断し、①のみで構成される選択肢①を解答する可能性があることから、これも正解とする。

問2 下線部(b)に関連して、ショウジョウバエの前後軸の形成に関わる母性因子のなかには、濃度勾配を形成するものがある。次の記述①~③のうち、濃度勾配を形成する母性因子の特徴として適当なものはどれか。それを過不足なく含むものを、後の④~⑦のうちから一つ選べ。 21

- ① タンパク質の濃度の違いによって、細胞に異なる応答を引き起こす。
- ② タンパク質が胚の全域に均一に分布した後、濃度勾配が生じる。
- ③ 胚において、核分裂だけを起こしている時期に、タンパク質の濃度勾配が生じる。

- ④ a
- ⑤ b
- ⑥ c
- ⑦ a, b
- ⑧ a, c
- ⑨ b, c
- ⑩ a, b, c